

## 解答

一

- 問一 エ  
問二 2 ウ 3 ア 4 オ  
問三 イ  
問四 大きな色、性質や脚の速さという個々の特徴を捨てて、茶色いたてがみとするどい牙という共通の性質をもつ危険な獣をライオンと名付けるということ。  
問五 エ  
問六 エ  
問七 アラビア語を話す人々にとって、らくだが日常生活に深く関わっていることがわかるということ。  
問八 ア × イ × ウ ○ エ ○ オ × カ ×

二

- 問一 a 居間 b 流派 c 家元 d 的中 e 真顔  
問二 里子ちゃんの好きなクッキーは、ジャムの入ったこれだよ。  
問三 エ  
問四 テレビのすもう中継  
問五 おだてる  
問六 里子ちゃんがお花のお師匠さんだったこと。  
問七 ア  
問八 素質があつた母が師範になれなかったのは、結婚して自分たちを生んだせいではないかと予感したから。  
問九 結婚／家庭  
問十 オ  
問十一 結婚は世界の端っここの行き止まりみたいなのところにあると感じたから。  
問十二 心が大人になった

## 解説

一

- 問四 傍線部2の直後にある「たとえば、こういうこと」以降の部分にどういうことが具体的に述べられています。どのような特徴から個々の異なる獣を概念化しているのかを明らかにしながらまとめます。  
問六 傍線部4の前の一文に「そういうこと」が示す内容が述べられています。母語によって習得した世界観は、その人の世界観に大きな影響を与え、その人の思考に強い影響を及ぼすとあるので、最も適切なものは選択肢エになります。  
問八 第二段落の最後にある「世の中にあるものを概念化して」から始まる一文の内容は選択肢ウと合致します。また、第三段落の「そういうことを数かぎりなく」も「大人によって教えられる。」には選択肢エの内容が述べられています。その他の選択肢は本文の内容と合いません。

二

- 問六 すぐ後に続く会話に答えがあります。「知らないって、なにを」に対し、叔母が「ほんとは葉っぱ一枚の裏表まで考えて活けてあるはずよ。里子ちゃんはお花のお師匠さんだったのよ」と返事をしているので、この部分から適切な形にして答えます。  
問十一 傍線部8や「どこまでも行けると思っていたけど、違うのかもしれない。」は、自分の可能性を無限に追及できないことを表しています。私がこのように考えたのは、すごかった里子ちゃんが、「結婚」により様々なことを終わりにしたからです。私の「結婚」に対する思いは、ギリシャ神話にでてくる地球の端っここの行き止まりみたいなのところと表現されているので、この部分から問題文の指示に従ってまとめます。